

交流及び共同学習とは

我が国は、障がいの有無にかかわらず、誰もが相互に人格と個性を尊重し合える**共生社会の実現**を目指しています。障がいのある子供と障がいのない子供が触れ合い、共に活動する交流及び共同学習は、経験を深めて社会性を養い、豊かな人間性を育むとともにお互いを尊重し合う大切さを学ぶ機会となるなど、大きな意義を有するものです。

小・中学校等や特別支援学校の学習指導要領等においては、交流及び共同学習の機会を設け、共に尊重し合いながら協働して生活していく態度を育むようにすることとされています。

交流及び共同学習の目的

交流の目的 →相互の触れ合いを通じて豊かな人間性を育むこと

共同学習の目的 →教科等のねらいの達成

この2つの側面を**分かちがたいもの**として捉え、**推進**していく必要がある



交流及び共同学習の目的

文部科学省 学習指導要領に基づいた活動意義の体系化



障がいのある児童生徒にとって



社会性の育成

多様な他者との関わりを通じて集団生活への適応力を養う



経験の拡大

日常を超えた交流により興味・関心や自身の世界を広げる



自己肯定感の醸成

相互承認の中で自分らしさを発揮し活動への意欲を高める



障がいのない児童生徒にとって



多様性の尊重

障がいの有無に関わらず一人ひとりの個性を正しく理解する



心のバリアフリー

自然な助け合いや環境への配慮を主体的に考える態度を育む



共生の意識

共に生きる社会の一員としての自覚と広い視野を身につける

最終目標：共生社会の形成

【教育的意義】

個に応じた適切な指導と
集団の中での高め合い

【社会的意義】

「違い」を力に変える
コミュニティ形成の土台

【地域的意義】

学校を拠点とした
地域の福祉マインド向上

居住地校交流とは

交流及び共同学習の種類は様々あります。その一つに、特別支援学校に通う児童生徒が、授業の一環として自分の居住する地域の小・中学校等の学校行事に参加したり、一部の教科等の学習を共に行ったりする「居住地校交流」があります。障がいのある子供たちにとって、地域の子供たち同士の交流等を通して、地域の一員として豊かに生きていくための生活の基盤を形成する貴重な機会となります。また、障がいのない子供たちにとっては、地域社会の中で、共に助け合い支え合って生きていくことの大切さを学ぶ機会の一つとなります。次年度以降本校でも、本人、保護者のニーズを踏まえて取り組んでいきたいと考えております。

今年度の本校における交流および共同学習の取組をご紹介します。

小学部

多良木町内の小学校と交流及び共同学習を行いました。6月は、本校で交流会を行いました。グループに分かれて自己紹介や「交流の歌」を歌う活動を通して、少しずつお互いの緊張がほぐれてきた子供たち。学校探検では、本校の子供たちが校内を案内したり、球磨支援学校のことをもっと知ってもらうクイズをしたりしました。また、パラバルーンを使った活動では、みんなで協力しながら楽しく活動する姿が見られました。「楽しかった」「また会おうね」等と笑顔で言葉を掛け合う姿が見られました。9月は、各校を訪問して交流会を行いました。「学校探検」や「制作活動」等、各校の子供たちが工夫を凝らした活動が計画されており、同じグループの友達との関わりを深める機会となりました。



中学部

多良木中学校特別支援学級との交流会を実施しました。10月には、校舎が隣接している利点を生かし、事前交流として中学校を訪問し、自己紹介カードの交換を行いました。カードを見て交流する友達の名前や好きなことなどを確認し、当日への期待を高めていました。交流当日は、学校紹介の他、学校生活に関するクイズを出し合いました。相談しながら答えを考えたり、互いに喜びあったりとお話の回数が徐々に増え交流が広がりました。2月は感染症流行のため、オンライン形式でボッチャを用いた交流を行いました。交流後に交換した手紙には、再会を楽しみにする言葉が多く見られ、互いを身近に感じる関係が築かれつつあることがうかがえました。

高等部

1月に、本校がある多良木町の姉妹町、北海道南幌町にある北海道南幌養護学校とのオンライン交流学習を実施しました。Zoomを通じて、会議室の大きなスクリーン越しに遠く離れた友達との対面が実現しました。事前学習では、地図アプリやライブカメラで両校の距離や気候の違いを学び、その後は3グループに分かれて準備を進めました。「学校紹介」班は教師へのインタビューや教室などの紹介動画を制作し、「クイズ」班は人吉・球磨地域の魅力を伝える3択問題を作成、「プレゼント」班は、くまモンやきじ馬のちぎり絵を心を込めて仕上げました。当日は互いの動画やクイズ、ダンス発表を楽しみ、普段は関わることができない遠方の友達と、充実した交流のひとつを過ごすことができました。



〈お問い合わせ先〉

熊本県立球磨支援学校

教頭：紫垣

特別支援教育コーディネーター：高島

TEL：0966-42-3792

FAX：0966-42-6938

E-mail:kuma-s@pref.kumamoto.lg.jp

HP アドレス：<http://sh.higo.ed.jp/kuma-s/>



球磨支援学校のHP
QRコード